



# 2008年 環境報告書

Nasu Material Corporation Environmental Report



那須マテリアル株式会社

**NASU-MATERIAL**

<http://www.nasu-material.co.jp>

# 環境報告書の制作にあたって

## 報告書対象期間

---

2007年4月1日～2008年3月31日

## 報告書対象組織

---

那須マテリアル株式会社

本社工場(栃木県大田原市)及び東北事業所(福島県西郷村)

## 目次

1. 会社概要・会社履歴・組織体制・グループ会社一覧	2
2. 工場施設及び設備の概要	3
3. 環境方針	4
4. EMSの取り組み-(1)	5
EMSの取り組み-(2)	6
5. 教育訓練	8
6. 地域社会への取り組み(クリーン活動)	9
7. 再生・リサイクル品のご紹介	9

# 1. 会社概要

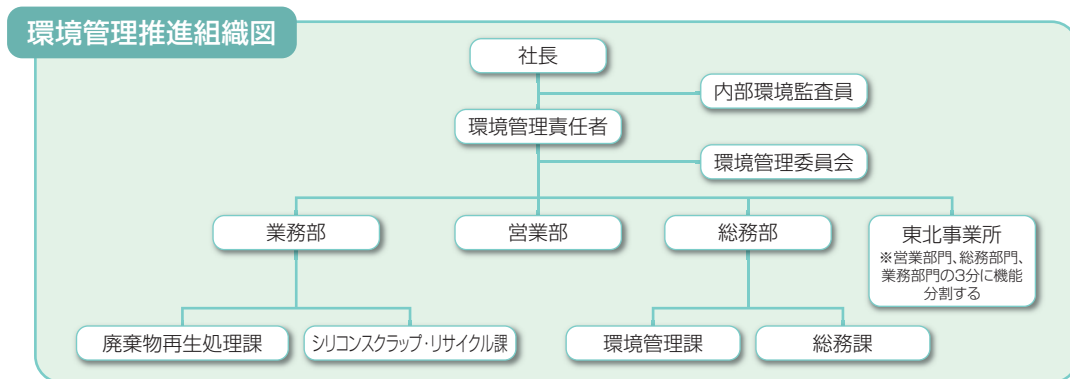
## 会社概要

社名	那須マテリアル株式会社	資本金	56,000,000円(平成20年7月現在)
創設年月日	平成9年9月9日	役員	代表取締役 星 彰治
操業開始日	平成12年4月1日		取締役 星 豪紀
本社	栃木県大田原市北金丸2122		取締役 星 祐見子
東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175-5		監査役 高梨 友子
福島営業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字原中320-101		

## 会社履歴

1997年 9月	那須マテリアル株式会社を設立	2007年 8月	那須マテリアル株式会社本社・東北事業所 ISO 27001の認証を取得
2000年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 栃木県産業廃棄物処分業許可を取得	9月	秋田マテリアル株式会社を設立
2002年11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新
2003年 6月	星 彰治が代表取締役に就任する	2008年 1月	エヌズホールディングス株式会社を設立
2004年 1月	那須マテリアル株式会社本社ISO 14001の 認証を取得	5月	秋田マテリアル株式会社 秋田県産業廃棄物処分業許可を取得
2005年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新	12月	那須マテリアル株式会社東北事業所増築部分 竣工見込み
2006年 4月	福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として 東北事業所を開設する		
9月	一般労働者派遣事業許可を取得		
10月	群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 那須マテリアル株式会社東北事業所ISO 14001の 認証を取得		

## 組織体制



## 環境関連グループ会社一覧



エヌズホールディングス株式会社  
本社／〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉  
字大平175-5 TEL.0248-48-0099  
大田原支店／〒324-0011 栃木県大田原市北金丸2122  
TEL.0287-20-2660



秋田マテリアル株式会社  
〒018-0311 秋田県にかほ市金浦字塩焚浜188  
TEL.0184-74-5277

## 2. 工場施設及び設備の概要

### (1) 本社工場

- 所在地 栃木県大田原市北金丸2122  
敷地面積 33,510㎡  
業務内容 (1)OA機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル化  
(2)シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレードシリコンインゴットの売買  
(3)環境業務全般に係わる派遣事業及びこれらに伴う教育  
(4)建設資機材・環境機器のレンタル事業



#### 保有設備(本社所有)

名称	破砕機	粉碎機	被覆電線 処理装置	発泡スチロール 減容再生機	フォーク リフト
数量	1	1	1	1	2

名称	ローリフト	トラック スケール	プリンター付 デジタル計量器	2tトラック	4tトラック
数量	1	1	1	2	1

#### 保有設備(本社所有レンタル品)

名称	3.8m敷鉄板	三脚付光波 プリズム	バックホウ 油圧ショベル	生ゴミ 分解処理機
数量	150枚	3	2	1

### (2) 東北事業所

- 所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175-5  
敷地面積 2,940㎡  
業務内容 (1)鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル化  
(2)シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレードシリコンインゴットの売買



東北事業所増築完了後イメージ

#### 保有設備(東北事業所所有)

名称	70t圧縮機	フォーク リフト	プリンター付 デジタル計量器	シリコン 自動選別機
数量	1	2	1	1

### (3) 宇都宮作業場所有

#### 保有設備

名称	300t圧縮機
数量	1

## 3. 環 境 方 針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分(素材毎の再生利用)事業・産業廃棄物収集運搬事業・シリコンスクラップの再利用・再生利用事業という環境保全に関わる事業を展開していることを踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
  - (1) 電力及び軽油の消費の削減
  - (2) 収集運搬作業中の破損及び落下等の事故の予防
  - (3) 再生入荷物及びリサイクル品の取扱数量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進
  - (4) 自社発生再生原料による製品化
  - (5) 環境関連セミナーの開催による環境情報交換及び環境啓蒙活動の推進
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていく。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2007年 12月7日

那須マテリアル株式会社

代表取締役 星 彰 治

# 4. EMSの取り組み - (1)

## 環境目的・目標一覧(全社分)

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 4年度目	
				2007年(H.19) 度目標 期間：2007年4月～2008年3月	目標の使用量、 排出量等
1.省エネ・ 省資源対策	1.電力使用量の削減①(100V)	本社の照明・事務機器・業務部関連設備、東北事業所関連の照明・事務機器・業務部門関連の施設設備等の稼働に伴う電力の消費	H18年度想定実績値： 69,526kwh (実績68,082)	■基準値比 5.0%削減	66,050kwh
	2.電力使用量の削減②(200V)	東北事業所の業務部門関連設備(プレス機、集塵機)稼働に伴う電力の消費 ※本社は該当しない	H18年度想定実績値： 4,477kwh (実績4,081)	■基準値比 8.0%削減	4,119kwh
	3.ガソリン使用量の削減	本社及び東北事業所の総務部・営業部(営業部門)における業務上の自家用車使用、及び全社員の通勤上の自家用車使用に伴うガソリンの消費	H.18年度実績 データ無し	■半年間の実績値に基づき想定基準値を設定の上、今後の目標を設定する	今年度はデータ収集期間
	4.軽油使用量の削減	本社業務部の車輛(トラック)用燃料の消費、東北事業所業務部門で使用する車輛(トラック)用燃料の消費	H18年度想定実績値： 6,246 <sup>kg</sup> (実績5,392)	■基準値比10.0%削減	5,621 <sup>kg</sup>
2.廃棄物等排出対策	1.車輛からの排気ガスの削減	上記3.に関わる自家用車使用に伴う排気ガスの排出、及び上記4.に関わる車輛(トラック)使用に伴う排気ガスの排出	データ無し	■ガソリン及び軽油の目標に置き換える	
3.施設・設備・ 作業関連の 緊急時対策	1.業務用トラック関連の予防保全	本社業務部及び東北事業所業務部門で使用するトラックからのオイル漏れ、騒音、荷物の落下、荷物の飛散、人身・物損事故(緊急時)	H.15～18年度実績： 左記緊急事態発生 0件	■収集運搬・車輛管理手順書の見直し ■管理手順の教育及び徹底	
	2.収集運搬作業関連予防保全	解体作業中の破損事故、トラック捕縛作業中の(人の)落下事故、トラックの過積載運送、運搬中の荷物の落下事故及び人身・物損事故	H.15～18年度実績： 左記緊急事態発生 0件	■収集運搬・車輛管理手順書、運送トラックの積み込み及び捕縛作業手順書の見直し ■作業手順の教育及び徹底	
4.その他環境に 有益な項目	1.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 ※H18年度実績値：本社再生品の実績値(鉄、アルミ、ステンレス、プラスチック、雑品、シリコンの合計)		H.18年度実績 1,113,058Kg	■基準値比 3.0%増加	1,146,450kg
	2.自社発生再生原料を使用しての製品化へ取り組むことによる資源の再生利用、環境負荷の低減		H.16年度実績 自社製品0Kg 供給量2,370Kg	■再生製品の販売	100Kg
	3.環境関連業者との合同セミナー開催による情報交換及び環境啓蒙活動の推進		H.16年度実績 0回	■合同セミナー開催	5回開催

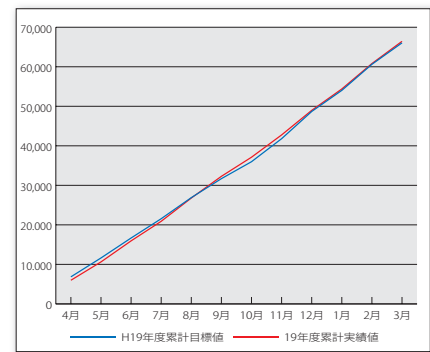
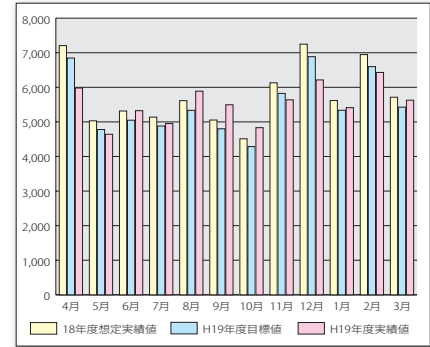
当社は、エネルギー・資源の削減活動はもちろんのこと、廃棄OA機器類を中心とした受入れ品を、手解体という手法を用いて、マテリアルリサイクルに取り組むということが事業活動を通じて重要な環境活動になると考えております。

# 4. EMSの取り組み - (2)

## 環境監視用実績データ一覧(全社分-その1)

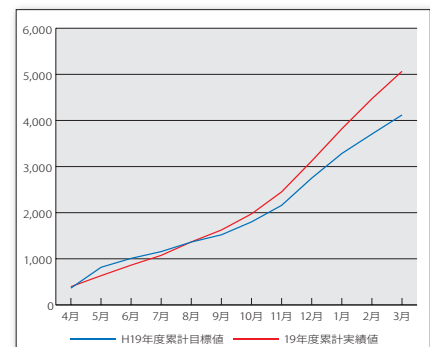
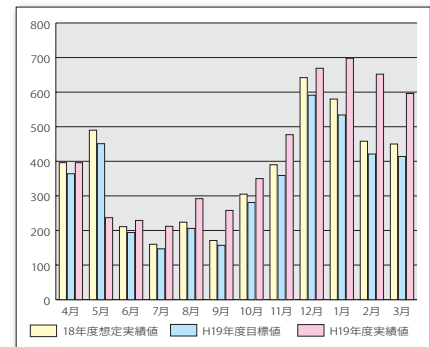
### ■ 電力使用量100V

監視データ1		電力使用量 100V (kwh)				H19年度 目標	基準値5%削減 目標使用量: 66,050kwh			
月	18年度 想定 実績値	各月目標・実績				累計目標実績				
		H19年度	H19年度	対目標値	評価	H19年度	H19年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(b)	(b/a)		累計目標値	累計実績値	(d/c)		
4月	7,206	6,846	5,980	87.4%	○	6,846	5,980	87.4%	○	
5月	5,031	4,779	4,642	97.1%	○	11,625	10,622	91.4%	○	
6月	5,315	5,049	5,325	105.5%	×	16,674	15,947	95.6%	○	
7月	5,138	4,881	4,952	101.5%	×	21,556	20,899	97.0%	○	
8月	5,615	5,334	5,889	110.4%	×	26,890	26,788	99.6%	○	
9月	5,054	4,801	5,495	114.4%	×	31,691	32,283	101.9%	×	
10月	4,512	4,286	4,833	112.8%	×	35,977	37,116	103.2%	×	
11月	6,130	5,824	5,638	96.8%	○	41,801	42,754	102.3%	×	
12月	7,248	6,886	6,214	90.2%	○	48,687	48,968	100.6%	×	
1月	5,618	5,337	5,412	101.4%	×	54,024	54,380	100.7%	×	
2月	6,946	6,599	6,430	97.4%	○	60,622	60,810	100.3%	×	
3月	5,713	5,427	5,627	103.7%	×	66,050	66,437	100.6%	×	
	69,526	66,050	66,437							



### ■ 電力使用量200V

監視データ2		電力使用量 200V (kwh)				H19年度 目標	基準値8%削減 目標使用量: 4,199kwh			
月	18年度 想定 実績値	各月目標・実績				累計目標実績				
		H19年度	H19年度	対目標値	評価	H19年度	H19年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(b)	(b/a)		累計目標値	累計実績値	(d/c)		
4月	396	364	396	108.7%	×	364	396	108.7%	×	
5月	490	451	237	52.6%	○	815	633	77.7%	○	
6月	211	194	229	118.0%	×	1,009	862	85.4%	○	
7月	160	147	212	144.0%	×	1,156	1,074	92.9%	○	
8月	224	206	292	141.7%	×	1,363	1,366	100.3%	×	
9月	171	157	258	164.0%	×	1,520	1,624	106.9%	×	
10月	305	281	350	124.7%	×	1,800	1,974	109.6%	×	
11月	390	359	477	132.9%	×	2,159	2,451	113.5%	×	
12月	642	591	669	113.3%	×	2,750	3,120	113.5%	×	
1月	580	534	698	130.8%	×	3,283	3,818	116.3%	×	
2月	458	421	652	154.7%	×	3,705	4,470	120.7%	×	
3月	450	414	596	144.0%	×	4,119	5,066	123.0%	×	
	4,477	4,119	5,066							

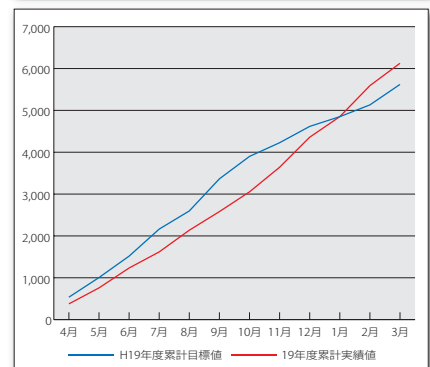
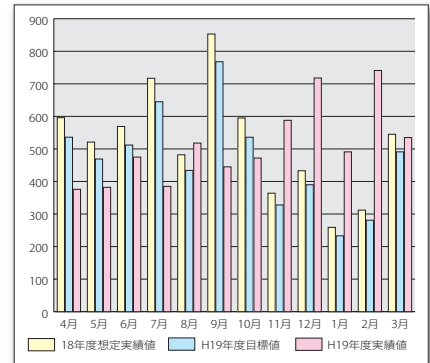


上記の各電力使用量の目標実績については事業拡張や従業員の増員などのファクターにより、年間実績が未達となってしまいました。これらの要素を踏まえて、次年度からは基準値に原単位を採用し、引き続き削減活動に取り組んで参ります。

## 環境監視用実績データ一覧 (全社分-その2)

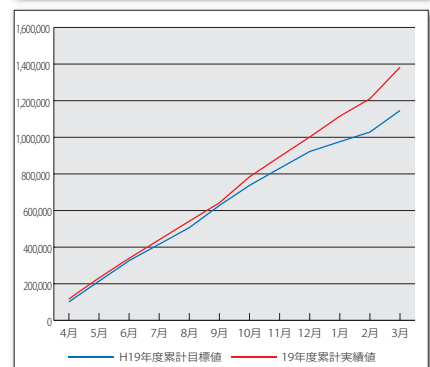
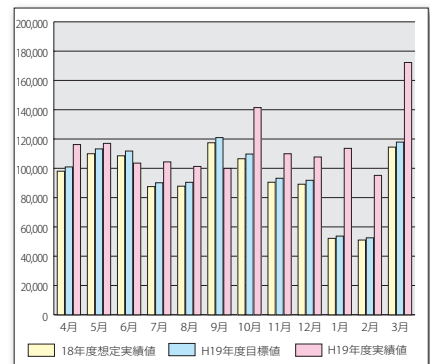
### ■ 軽油使用量

監視データ3		軽油使用量 (L)				H19年度 目標	基準値 10%削減 目標使用量: 5,621kwh			
月	18年度 想定 実績値	各月目標・実績				累計目標実績				
		H19年度	H19年度	対目標値	評価	H19年度	H19年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(a)	(b/a)		累計目標値	累計実績値	(d/c)		
4月	596	536	376	70.1%	○	536	376	70.1%	○	
5月	521	469	382	81.5%	○	1,005	758	75.4%	○	
6月	569	512	475	92.8%	○	1,517	1,233	81.3%	○	
7月	717	645	385	59.7%	○	2,163	1,618	74.8%	○	
8月	482	434	518	119.4%	×	2,597	2,136	82.3%	○	
9月	853	768	445	58.0%	○	3,364	2,581	76.7%	○	
10月	595	536	472	88.1%	○	3,900	3,053	78.3%	○	
11月	364	328	588	179.5%	×	4,227	3,641	86.1%	○	
12月	433	390	718	184.2%	×	4,617	4,359	94.4%	○	
1月	259	233	491	210.6%	×	4,850	4,850	100.0%	×	
2月	312	281	741	263.9%	×	5,131	5,591	109.0%	×	
3月	545	491	535	109.1%	×	5,621	6,126	109.0%	×	
	6,246	5,621	6,126							



### ■ 再生入荷物・リサイクル品<sup>(※1)</sup>取扱量

監視データ4		再生入荷物・リサイクル品取扱品の増加 (単位:kg)				H19年度 目標	基準値 3%削減 目標使用量: 1,146,450kwh			
月	18年度 実績値	各月目標・実績				累計目標実績				
		H19年度	H19年度	対目標値	評価	H19年度	H19年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(a)	(b/a)		累計目標値	累計実績値	(d/c)		
4月	98,010	100,950	116,229	115.1%	○	100,950	116,229	115.1%	○	
5月	109,955	113,254	117,020	103.3%	○	214,204	233,249	108.9%	○	
6月	108,531	111,787	103,553	92.6%	×	325,991	336,802	103.3%	○	
7月	87,509	90,134	104,385	115.8%	○	416,125	441,187	106.0%	○	
8月	87,797	90,431	101,281	112.0%	○	506,556	542,468	107.1%	○	
9月	117,449	120,972	99,925	82.6%	×	627,529	642,393	102.4%	○	
10月	106,543	109,739	141,467	128.9%	○	737,268	783,860	106.3%	○	
11月	90,485	93,200	109,945	118.0%	○	830,467	893,805	107.6%	○	
12月	89,132	91,806	107,738	117.4%	○	922,273	1,001,543	108.6%	○	
1月	52,163	53,728	113,613	211.5%	○	976,001	1,115,156	114.3%	○	
2月	51,023	52,554	95,163	181.1%	○	1,028,555	1,210,319	117.7%	○	
3月	114,461	117,895	172,255	146.1%	○	1,146,450	1,382,574	120.6%	○	
	1,113,058	1,146,450	1,382,574							



手解体によって選別した素材をエンドユーザー向けに原料として供給するだけでなく、自社で発生した選別素材を利用して再生製品を製作し利用する活動にも取り組んでおります。

※1 当社にてピックアップした入荷機器及び入荷素材。



# 5. 教育訓練

## 2007年度教育訓練計画兼進捗管理表(全社分)

主管:環境管理課

区分	教育の内容	対象者	頻度	実施期間	主管部門・機関
1.一般教育	・EMS概要、地球環境保全、環境マネジメント活動全般(方針、目的目標、EMP等含む)	管理者・一般従業員全員	2回	1回目: 2007年9月 2回目: 2008年1月	環境管理課又は外部専門機関
2.特定教育	・紙及び電子マニフェストの記載処理について ・環境関連法令について  ・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	業務部管理職全員	1回	2007年11月	社長
		総務課関連手順書教育:総務課全員(省エネ管理手順書等)	1回	2007年9月	環境管理課
		廃棄物再生処理課関連手順書教育:再生処理課従業員全員	1回	2007年9月	再生処理課 環境管理課
		顧客A(管理報告業務):報告管理者数名	1回	2007年9月	再生処理課
		フォークリフト操作管理手順教育:オペレーター全員	1回	2007年9月	
		顧客B(解体作業報告の管理作業):数名受講	1回	2007年9月	
		中間処理機操作全般教育:操作者全員	1回	2007年9月	
			SSR課関連手順書教育:SSR課全従業員	1回	2007年9月
	東北事業所適用手順書教育:各手順書 該当者全員	1回	2007年9月	環境管理課	
3.内部環境監査員教育	・内部環境監査員養成講座(環境管理責任者主催コース)	内部監査員候補者	1回	2007年11月	外部専門機関
	・内部環境監査員ブラッシュアップ講座	認定済監査員(監査前の訓練)	2回	2007年9月 2008年1月	外部専門機関
4.緊急事態対応教育	・我が社が特定している緊急事態 ・緊急事態発生時での対応及び処置 ・緊急事態の実際の訓練	緊急事態が想定される業務従事者全員:(本社・東北事業所)	1回	2007年9月	各部門責任者
		会社全体に関わる緊急事態:全従業員(本社・東北事業所)	1回	2007年 防災訓練(10月)	環境管理課



マテリアルリサイクル率の更なる向上、顧客要求事項の浸透のために管理者による組織内の教育を日々見直し、規定手順を作成し教育を実施しております。尚、業務部門の従業員の教育については、教育効果をより向上させるため、少人数グループを形成して実施しております。

## 6. 地域社会への取り組み(クリーン活動)

本社および東北事業所の工場周辺を当社の従業員が一定期間毎にクリーン活動を実施しております。



本社工場周辺のクリーン活動



東北事業所周辺のクリーン活動



## 7. 再生・リサイクル品のご紹介

弊社で発生した選別素材を利用して制作した再生品。さまざまな場所で利活用されています。



プランター



テーブル

## 最後に

那須マテリアル株式会社は事業活動およびこの環境報告書の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを図るとともに、信頼の確保に今後とも努めてまいります。

2008年9月

那須マテリアル株式会社

代表取締役

星 彰 治